

【ビクターセンター イベント案内】

県立丹沢湖ビクターセンター

●自然教室「野鳥観察はじめの一歩」
 はじめての方を対象に丹沢湖周辺で冬鳥の観察をします
 【日 時】平成23年2月5日(土) 9:30~15:30
 平成23年2月12日(土) 9:30~15:30
 【対 象】小学生以上20名(小学生は保護者同伴のこと)
 【参加費】1人 1,000円 ※応募者多数の場合は抽選
 【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号、参加希望日を記入して、締切日必着でお送りください
 詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
 【締切日】平成23年1月24日(月)必着

県立宮ヶ瀬ビクターセンター

●企画展「丹沢の素敵な場所、変な場所」
 【展示期間】平成22年11月20日(土)
 ~平成23年3月31日(木)
 【内 容】丹沢には、感動をみんなに分けたくくなるような素敵な場所がたくさんあります。一方、問題をかかえて悲しくなるような場所もあります。そうした風景を写真で紹介いたします。

●自然教室「丹沢の動物探偵団！」

丹沢山麓で動物たちのくらしをのぞいてみよう!
 【日 時】平成23年3月5日(土) 10:00~15:30
 【対 象】小学生以上 30名 ※応募者多数の場合は抽選
 【参加費】1人 1,000円
 【締切日】平成23年2月12日(土)必着
 【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。
 詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

県立秦野ビクターセンター

●自然教室「地図とコンパス これだけは！」
 登山やハイキングの前に地図とコンパスの使い方を学んでみませんか?室内で基礎を学んで、野外で実践します。
 【日 時】平成23年1月14日(金) 9:30~16:00
 平成23年1月15日(土) 9:30~16:00
 【集合解散】県立山岳スポーツセンター
 【活動場所】室内講義と野外(三ノ塔尾根)
 【対 象】高校生以上 各回30名 ※応募者多数の場合は抽選
 【参加費】1人 1,500円
 【締切日】12月21日(火)必着

●自然教室「野鳥の世界をのぞいてみよう！」

野鳥観察の方法を学びながら、野鳥をじっくり観察します
 【日 時】平成23年2月11日(金・祝) 9:30~16:00
 【集合解散】県立山岳スポーツセンター
 【対 象】小学生以上 30名(小学生は保護者同伴のこと)
 【参加費】1人 1,500円 ※応募者多数の場合は抽選
 【締切日】平成23年1月27日(木)必着
 【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名(「地図とコンパス これだけは!」)は参加希望日を明記、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。
 詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

県立陣馬自然公園センター

●特別展「神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展」
 【展示期間】平成22年11月2日(火)
 ~平成23年1月30日(日)
 【内 容】陣馬相模湖自然公園の魅力再発見!
 一般の方からご応募いただいた約40点の写真を展示しています。

2010

12月号

No.82

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

宮ヶ瀬ビクターセンター



雲海と富士山 西丹沢方面



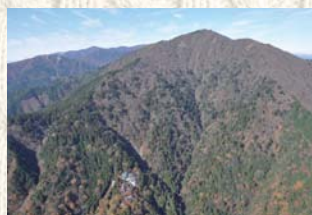
札掛から宮ヶ瀬湖方面

飛翔！丹沢の空へ

「丹沢を空から見てみたい！」そんな思いが叶い、11月24日、丹沢の山々を空から見てきました！！

高い空からの眺めは実物で見るジオラマです。山々を歩いては見られない、鳥の目線、角度からの丹沢は、見つけた山でさえ、はじめてみる山のようにとても新鮮です。いつもの通勤路や歩いている山々、稜線間近からあふれ出す水の流れや滝の姿、谷の深さや山の険しさ、いろいろな偶然が織りなす感動の景色。驚きや発見、「わぁ〜！」の連続で、こんな景色を見ている鳥たちが少しうらやましくも思ってしまう。数枚の写真でしかお見せできないのが残念なくらいですが、ぜひ目線が変わった丹沢を堪能してください！

今回、素晴らしい景色を堪能させてくれた丹沢も、たくさんの問題を抱えています。空からしかわからないもの、歩かないとみられないもの、調査しないとわからないこと…。様々な目線で丹沢の姿を見つめられるといいなあとおわせてくれた空からの眺めでした。(谷脇)



大山



蛭ヶ岳



宮ヶ瀬湖

自然公園へ出かけよう



◆ 年末年始のお休み ◆
 神奈川県立のビクターセンター 12/29~1/3
 環境省のビクターセンター 12/28~1/1

県立宮ヶ瀬ビクターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28)は16:00閉館
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビクターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
 開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
 Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
 開館時間 9:00~16:30
 (12/1~3/31)は16:00閉館
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビクターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28)は16:00閉館
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
 Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
 開館時間 8:30~16:30
 (12/1~3/31)は16:00閉館
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビクターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧礼場164
 Tel0460-84-9981
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmj.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

陣馬自然公園センター

冬の風物詩

いよいよ寒い季節になり、朝はいつまでも布団の中でぬくぬくとしていたい気持ちになります。でも、早く起きて山に行かないと見られないのが、シソ科のシモバシラにできる氷の華です。その可憐で美しい舞姫の様な形は、見る人を魅了し惹き付けられてしまいます。この時期に陣馬山を訪れる人の中には氷の華だけを見に来られる方もいるくらいの人気者で、寒さを我慢してみる価値は十分あると思います。また、陣馬山だけでなくセンター周辺でも見ることができますが、ただ沢山無いので宝探しをする様に見つけてみてください。

当センターでは、平成22年11月2日～平成23年1月30日まで企画展“神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展”を開催しております。一般や自然公園関係者の方から応募していただいた写真を展示しております。ぜひ、写真をご覧ください。自然公園に対するみなさんの想いなどを感じてもらえたらうれしいです。皆様のお越しをお待ちしております。(清水)



シモバシラ(シソ科の植物)の氷の華。茎が吸い上げた水分が凍り、花が咲くように割れ出します。



企画展の様子

丹沢湖ビジターセンター

鳥と木の實の関係

紅葉が一段落し、山が冬支度するころ、木の枝先についた実が一際目立ちます。色鮮やかなマユミやツルウメモドキと言った木の実は、目の良い鳥へのアピールになるだろうと思うのですが、アピール効果はあっても食べられずに残っている種類もあります。人間にとっては美味しいと感じるものが残っていたり、逆に味のないものが鳥には人気があったり、人間の好みとは違うようです。鳥には歯がないので、食べものは丸のみにします。ですので、味覚よりも匂いを重視しているのかもしれない。

どんな木の実が人気があるのか、皆さんも観察してみませんか？みなさんのお気に入りの場所に実のなる木があったら、それを毎回観察してみてください。日を遡うごとに実が減っていったり、手つかずのまま残っていたり、そんな様子が観察出来ます。年による違いもあります。「今年はあるという間になくなったなあ」と思う年もあれば、「あれれ、まだ残っているぞ」と思う年があったり。丹沢湖の周りでは、昨冬は冬鳥や漂鳥といわれる鳥たちが移動してくるのが遅く、数も多くなかったため、鳥が好むカラスザンショウの実も2月頃まで残っていました。今冬の鳥と木の實の関係はいかがでしょうか？(長澤)

※冬鳥：北の方から渡ってきて冬を過ごす鳥 漂鳥：繁殖地と越冬地との間を季節的に小規模の移動をおこなう鳥



① マユミ



② マユミの実をついばむソウシショウ



③ ツルウメモドキ

箱根ビジターセンター

早い早い初冠雪

11月18日、箱根の冠ヶ岳、駒ヶ岳、神山にて初冠雪を確認しました。時期的にはとても早く、地元の人でも驚きだそうです。この日期から気温はとても低く、山々の山頂辺りでは氷点下2度にもなっており、なおかつお昼過ぎからは雨の予報が出ておりました。この寒さと相成って、神山山頂辺りでは雨ではなく雪に変わるとは予想が外れず、そしたら案の定、お昼過ぎから降り出した雨は雪へと変わり、神山、冠ヶ岳は写真の通りに白く染められてしまいました。同じ頃、駒ヶ岳にも降雪を確認。この日、箱根中は少々フライング気味の降雪に驚かされた一日となりました。



白く染まる冠ヶ岳



箱根の紅葉

今年の紅葉は綺麗でした

毎年きれいに色付く駐車場のイロハモミジが、早い時期から落葉してしまい、今年の紅葉はどうなることかと、心配しましたが、夏の猛暑に耐えた兵達は、どうやらせっせと栄養を蓄えて、冬支度に余念がなかったようです。とびきり綺麗な紅葉で秋の箱根を輝かせてくれました。これから塔之沢、湯本あたりの紅葉がピークを迎え、箱根の長い紅葉のシーズンが終わります。(加藤・石原)

秦野ビジターセンター

『自然情報収集1年間』

日々変化していく丹沢の自然の様子。

『春が来た、花だ、新緑だ!』

『夏が来た、沢だ、夏休みだ!』

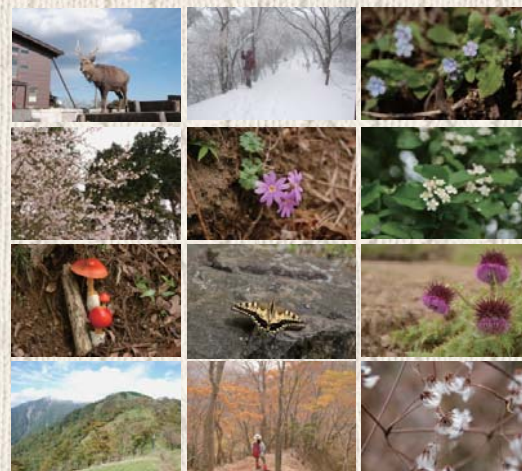
『秋が来た、紅葉だ、冬支度だ!』

『冬が来た、雪だ、冬景色だ!』

こんなふうにあっという間にビジターセンターの一年が過ぎ去って行きます。ビジターセンターでは、自然情報や展示作製の写真撮影、そして登山者の目線で登山道情報を提供することを主な目的として、定期的に丹沢の山を歩きます。

そんな写真の中から今回は1年をふり返って、月ごとに一枚ずつ選んでみました。もっともっとお伝えしたい風景もありますが、ここに凝縮してご紹介いたします。

みなさんも年間を通して、丹沢の自然や身近な自然をみつけてみませんか？(村上)



1月 ニホンジカ(オス)	2月 雪の大倉尾根	3月 ヤマドリソウ
4月 マメザクラ	5月 コイワザクラ	6月 カマツカ
7月 タマゴタケ	8月 キアゲハ	9月 フジアザミ
10月 塔ノ岳から登山へ	11月 紅葉の尾根道	12月 コボタケの糞